

平成26年10月15日

各位

横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
株式会社 ソディック  
代表取締役社長 金子 雄二  
電話 045-942-3111 (代)  
(東証第二部 コード 6143)

## “金属3Dプリンタではアジア最大級のサービスビューロ設立”

### 金属3Dプリンタ「OPM250L」を10台設備し

### OPM250L導入ユーザへの後方支援や、金属造形部品や金型部品の受託加工に対応

この度、弊社グループでは、“金属3Dプリンタ” One Process Milling Center「OPM250L」の開発を契機に、2014年12月からDDMサービスビューロ (Direct Digital Manufacturing Service Bureau) を設立し、OPM250Lを導入される企業への様々な後方支援活動や、弊社の従来の工作機械を設備するユーザにも、金属3Dプリンタ製作物を活用しやすいインフラを整備することで、量産現場への、本格的な金属3Dプリンタ技術の定着を図ります。

昨今、金属3Dプリンタ製作物が量産に耐えうる能力を備えたことにより、自動車メーカーや、スマートフォン関連企業などが量産現場へ積極活用する方向に動いています。しかし一般市場に設備されている金属3Dプリンタ装置の台数が極めて限られていることが課題となっています。その結果、大量案件や緊急納期、品質に対して充分対応しきれていないこともあり、大手企業は、一気に設備採用へと踏み切れないことも起こっています。

#### ◆設立の狙い

当サービスビューロは、OPM250Lを10台設置して、大手企業が安心して大型案件や納期対応の仕事を出せるようにし、且つOPM250Lを導入したユーザも、当サービスビューロを自社キャパシティのバッファとして活用できるよう、大型案件や多様なニーズに対応できる環境を整えます。

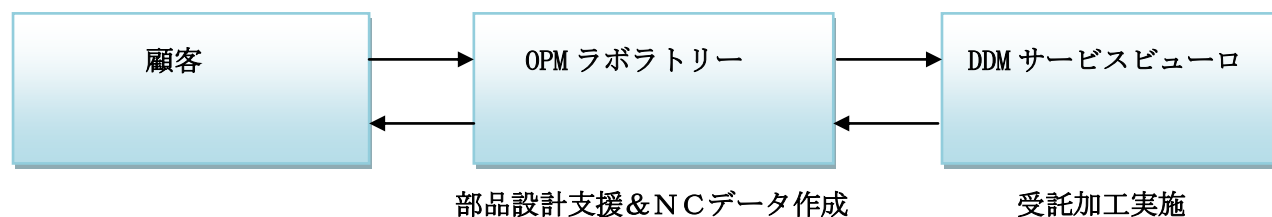
このサービスビューロの業務は、10年以上に渡りサービスビューロ事業を経験してきた株式会社OPMラボラトリーが運営し、受託部品の設計から製造まで一貫したサービスを行い、品質を確保します。また、該社ノウハウを有効活用し、OPM250Lの設備検討ユーザへの後方支援活動にもあたることで、導入シミュレーションも効率よく行えるメリットがあります。

DDMサービスビューロはソディック福井事業所 (福井県所在) 内に設立し、今年末までに、OPM250Lの設備を10台完了させ、事業をスタートします。尚、中国、東南アジアなどへも順次拡大をする予定です。

## ●「OPM250L」の外観



## ●DDMサービスビューロの業務の流れ



### ・所在地

- ・株式会社OPMラボラトリー

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町93 京都リサーチパーク 3号館B107

TEL 075-314-3446

- ・DDMサービスビューロ

〒919-0598

福井県坂井市坂井町長屋78 ソディック福井事業所内

TEL 0776-66-8877 (代)

### ●問い合わせ先

株式会社ソディック 営業本部 DDM営業部 青木新一 045-941-2222

以上